

令和8年度第1回滝沢市社会教育委員会議録

1 日 時

令和8年7月24日（金）午前10時から午前11時30分まで

2 場 所

滝沢市役所201・202会議室

3 出席委員

委員12人のうち8人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

N o	氏 名	役職	所属など	出欠
1	嶋野 重行	議長	盛岡大学短期大学部幼児教育科教授	○
2	鹿糠 博子	副議長	滝沢市小中校長会（篠木小学校長）	－
3	富澤 浩樹	委員	岩手県立大学ソフトウェア情報学部准教授	○
4	藤井 玄	委員	国立岩手山青少年交流の家所長	○
5	太田 豊	委員	滝沢市自治会連合会副会長（姥屋敷自治会長）	○
6	和野 美香	委員	滝沢市地域婦人協議会理事	－
7	高橋 雅寛	委員	滝沢市子ども会育成連合会長	○
8	高橋 仁	委員	滝沢市PTA連絡協議会長（鶴飼小PTA会長）	－
9	佐々木昭司	委員	滝沢市芸術文化協会副会長	○
10	熊谷 信雄	委員	滝沢市少年補導員連絡会長	○
11	齊藤 工	委員	滝沢市商工会青年部長	－
12	大畑佳代子	委員	滝沢市国際交流協会副会長	○

4 出席職員

N o	氏 名	所属・役職など
1	太田 厚子	教育長
2	滝田 俊一	教育次長
3	佐々木敬志	生涯学習スポーツ課長
4	菊池 睦子	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）
5	横澤 美保子	生涯学習スポーツ課 総括主査兼社会教育主事
6	細川 健一	文化振興課 総括主査兼社会教育主事
7	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 副主幹兼社会教育主事
8	立花 洸太	文化振興課 主査

5 会議内容

- （1）委嘱状交付
- （2）開会
- （3）教育長あいさつ
- （4）議事録署名人の任命
- （5）議事

議案第 1 号 副議長の選出について

報告第 1 号 令和 7 年度滝沢市社会教育事業実績について【資料 No. 1】

(6) 情報提供

滝沢市・読谷村児童交流事業について【資料 No. 2】

教育委員会議とスポーツ推進審議会の統合について【資料 No. 3】

(8) 閉会

6 質疑応答など

○議員議案第 1 号 副議長の選出

副議長の退任に伴い、新たな副議長の選出を行った。選出方法は事務局一任とされ、事務局から鹿糠博子委員が推薦された。審議の結果、異議なく承認され、鹿糠博子委員を副議長に選出した。

○報告第 1 号令和 7 年度社会教育事業実績について

事務局説明

質疑応答

高橋委員 詳細なご説明をいただき、ありがとうございました。資料を拝見していて感じたことですが、参加者数について、昨年度と比較して増えたのか減ったのかという点が分かるようになっていると、事業の状況や成果がより理解しやすいのではないかと思います。特に参加者数は事業の評価を考える上で一つの目安になると思いますので、そのような情報があるとさらに分かりやすい資料になると感じました。

佐々木課長 全ての事業に記載できるかについては検討が必要ですが、主要な事業については、参加者数の増減や、その要因などをコメントとして付けることも評価の参考になると感じました。今後の資料作成の中で検討してまいりたいと思います。

佐々木委員 芸術文化関係についてですが、芸術文化協会の活動なども含めて、現在口コミなどによる周知や参加促進に取り組んでいるところです。そのような状況もありますので、市主催事業だけでなく、関連団体の取組についても社会教育委員会の場で共有できればよいのではないかと思います。

立花主査 ご意見ありがとうございます。今回の資料については、市が主催している事業を中心に掲載しております。芸術文化協会の皆様が様々な取組を行っておられることは承知しておりますので、引き続きご協力をお願いしたいと思います。資料への掲載につきましては整理が必要ですが、ご意見として承ります。

佐々木委員 先ほど改めて資料を確認したところ、芸術祭の開催についての記載がありましたので理解できました。失礼いたしました。

熊谷委員 今回初めてこの会議に参加させていただきました。改めて資料を見ながら説明を聞いておりますと、教育委員会で年間を通じて本当に幅広い事業が行われていることがよく分かりました。私自身、学校関係の活動などを通じて関わる機会はありませんでしたが、それ以外の分野についてはあまり知る機会があり

ませんでした。そうした意味で、今回この会議に参加して様々な取組を知ることができ、大変勉強になりました。今後は自分自身もこれまで以上に興味を持ち、できる範囲で様々な活動に関わっていきたいと感じました。また、学校訪問などを通じて地域や子どもたちの課題を聞く機会がありますが、その中で教育委員会の事業と結び付けて紹介できる場面もあると思いましたので、今回の内容を参考にしていきたいと思います。

大畑委員 図書館について伺いたいと思います。私も時々利用させていただいてありますが、とてもきれいに整備されていて利用しやすく、勉強する環境としても大変良い施設だと感じています。そこで二点お聞きしたいのですが、一つは古い書籍をどのように保管しているのかということです。もう一つは、図書の更新について、年間どのくらいのリクエストによる購入冊数をしているか教えていただければと思います。

細川総括主査 古い書籍につきましては、図書館内の閉架書庫で保管しております。必要に応じて閲覧できるよう管理しております。また、リクエスト図書の購入冊数についてですが、昨年度は 98 冊購入しております。

太田委員 各担当からのご説明ありがとうございました。私自身、滝沢市に住んで五十年近くになりますが、昔図書館で滝沢地域の歴史に関する本を読んだ記憶があります。南部氏が盛岡へ移る以前の歴史や、この地域の成り立ちについて記された内容でした。最近になって改めて調べてみたいと思い図書館で探してみたのですが見つかることができませんでした。もしそのような地域史に関する資料や書籍があれば、後日でも結構ですので教えていただければありがたいと思います。地域の歴史を掘り下げていくと、滝沢にも非常に興味深い歴史があると感じています。

細川総括主査 お探しの資料については、図書館の閉架書庫に所蔵されている可能性があります。また、内容によっては岩手県立図書館に所蔵されている場合もあると思われます。機会がありましたら確認していただければと思います。

藤井委員 説明を聞きながら感じたことが二点あります。一つ目は、生涯学習、社会教育、スポーツ、文化財、図書館事業など、個々の事業は非常によく分かるのですが、それぞれがどのようにつながっているのかが見えるような資料があるとよいと思いました。例えば、子どもから高齢者まで各世代に対してどのような学びの機会が提供されているのか、また地域ごとにどのような取組が行われているのかが見えると、滝沢市全体の生涯学習の姿がより理解しやすくなると思います。

もう一点ですが、昨年度実施された「滝沢学びフェスタ」は非常に良い取組だったと思います。参加した方々からも好評だったと聞いていますので、もっと広く PR してもよいのではないかと感じました。せっかく良い事業を行っていても、市民の皆さんに知られていなければもったいないと思いますので、ぜひ積極的な情報発信をお願いしたいと思います。

佐々木課長 世代別や地域別の視点で事業を整理するという点については、資料の作り

方も含めて今後検討してまいりたいと思います。

また、学びフェスタについては大変成果のあった取組と認識しております。様々な場面で紹介しておりますが、さらに効果的な周知方法について検討していきたいと思います。

富澤委員 私は委員として三年目になりますが、現在は県立図書館や他自治体の教育委員会と共同研究を行う機会もあり、改めて本会議とのつながりを感じております。文化財についてお話ししますと、指定文化財だけでなく、無形文化財や自然に関する資源も含めて地域の大切な財産だと思います。本日配布された『滝沢市文化財ガイド』についても、非常によく整理されており、一覧性も高く素晴らしい資料だと感じました。こうした冊子を作成するには、基礎となるデータの整理や蓄積が必要になりますので、その点でも大変評価できる取組だと思います。

また、動画との連携なども図られており、大変分かりやすい内容となっていますので、もっと積極的に PR してもよいのではないかと思います。

さらに、議長からお話のあったインクルーシブやアクセシビリティの視点も重要だと感じました。ホームページなども含め、多様な方に情報が届く取組が今後ますます求められるのではないかと思います。

立花主査 先ほど説明の中で触れられませんでしたでしたが、本日お配りした『滝沢市文化財ガイド』は昨年度作成したものです。現在、ホームページへの掲載に向けて準備を進めております。また、小学校における学習への活用や市内公共施設への設置も進めているところです。ぜひ多くの方にご覧いただければと思います。

嶋野議長 私からも一点お伺いします。資料 11 ページの埋蔵文化財講座についてですが、「兵、語る」などの講座にはどのような方が講師として来られ、またどのような年代の方が参加しているのでしょうか。歴史というのは現在の行政区域を超えた広がりの中で語られるものですので、どのような方々が興味を持って参加されているのか大変興味があります。

井上総括主査 講師につきましては、大学の先生や県埋蔵文化財センターの職員、市町村教育委員会の学芸員など、専門的な知識を持つ方々にお願いしました。参加者については高齢者の割合が高く、おおむね 65 歳から 70 歳代の方が中心となっていますが、若い世代の参加もあります。また、参加者は滝沢市民だけではなく、盛岡市をはじめ県内各地から来られており、中には東京都や山形県など県外から参加される方もいらっしゃいます。講座内容によっては、広い地域から歴史に関心のある方々が集まる状況です。

なお、火おこし体験などの歴史体験教室については、小学生の参加が中心となっています。

嶋野議長 今のお話を聞いても、事業ごとの参加者の年代や対象層が分かると、さらに事業の特色や成果が理解しやすくなると感じました。